

財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
2011年度ストレス科学シンポジウム

第2弾

うつにならない

～毎日を元気に過ごすための工夫～

2012年

2/12

(日)

日時:2012年2月12日(日) 13:00～17:00

会場:早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール

参加無料 先着 450名

●お申込み方法は裏面をご覧ください

プログラム

- 13:10～14:00 「パーソナリティ論からみたうつ病の予防」
野村総一郎(防衛医科大学校教授/防衛医科大学校病院副院長)
- 14:00～14:50 「気付いて下さい、こころのサインに
～ストレスケア外来の最前線から～」
坂元 薫(東京女子医科大学精神医学講座教授)
- 15:10～16:00 「“うつ”と上手につきあう“考え方”」
下山晴彦(東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース教授)
- 16:00～17:00 パネルディスカッション
司会 村上正人
財団法人パブリックヘルスリサーチセンター ストレス科学研究所副所長
日本大学板橋病院心療内科科長/日本大学医学部内科学診療教授

主催: 財団法人パブリックヘルスリサーチセンター

うつ病（躁うつ病を含む）の患者数が100万人を超えたことが、2009年度の厚生労働省の調査で明らかになりました。うつ病のきっかけは多くの人が経験するストレスであり、うつ病は今や誰もがなり得る病気と言えます。

（財）パブリックヘルスリサーチセンターストレス科学研究所が主催する本シンポジウムではうつ病臨床の第一人者の先生方から、うつ病予防についての最新の知見をお話いただきます。

この貴重な機会に、うつ病にならないための正しい知識を身につけましょう。

講師プロフィール

- **野村 総一郎（のむら そういちろう） 防衛医科大学校教授/防衛医科大学校病院副院長**
1974年慶應義塾大学医学部卒業。藤田保健衛生大学助手を経てテキサス大学医学部、メイヨ医科大学精神医学教室留学。1988年藤田保健衛生大学精神医学教室助教授。1993年国家公務員等共済組合連合会立川病院（神経科部長）で「疲労外来」を開設しこころとからだの疲れを訴える患者の診療にあたる。1997年防衛医科大学校精神科教授。2008年防衛医科大学校病院副院長。
専門はカウンセリング（特に青年・成人期）。
- **坂元 薫（さかもと かおる） 東京女子医科大学精神医学講座教授**
1982年東京医科歯科大学医学部卒業後、東京女子医科大学神経精神科にて研修。ドイツ、ボン大学精神科留学。東京女子医科大学神経精神科講師、東京女子医科大学神経精神科助教授を経て2007年東京女子医科大学精神医学講座教授に就任。
専門は臨床精神薬理学、精神病理学、気分障害・不安障害の臨床研究。
- **下山 晴彦（しもやま はるひこ） 東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース教授**
1982年東京大学大学院教育学研究科教育心理学専攻修了。1997年、東京大学博士（教育学）授与。東京工業大学保健管理センター専任講師、東京大学教育学部教育心理学科助教授、同大学院教育学研究科臨床心理学コース教授などを経て、2007年より同主任教授。
専門は臨床心理学、臨床心理学論。

◆お申込み方法

受付期間：2011年11月21日（月）
～2012年2月10日（金）

代表者氏名（同行者人数）、ご連絡先（電話番号）上記2つを明記の上、電話、メールまたはFAXにて下記までお申し込み下さい。

◆お申し込み先・お問い合わせ先

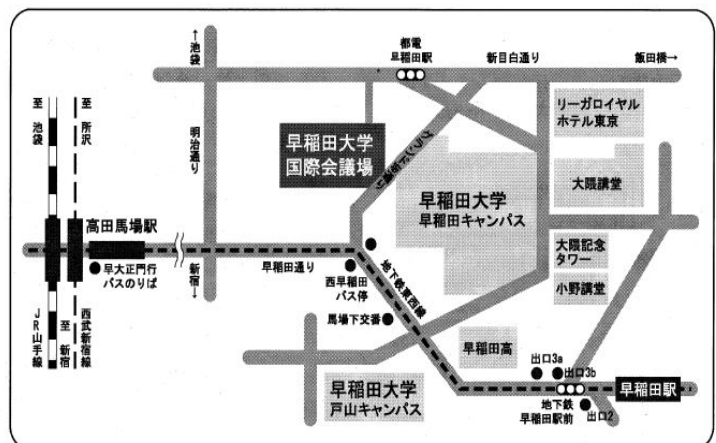
（財）パブリックヘルスリサーチセンター
東京都新宿区西早稲田 1-1-7

TEL：03-5287-5070

FAX：03-5287-5072

E-mail：info@phrf.jp

◆会場 早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール



東京メトロ東西線「早稲田」駅 3A または 3B 出口より徒歩 10 分

JR 山手線・西武新宿線「高田馬場」駅から都営バス「西早稲田」下車徒歩 5 分